

令和元年度を振り返って…



えひめさんさん物語の開催

愛媛県と新居浜、西条、四国中央の3市が連携し、東予東部で初めてとなる広域振興イベントを開催し、県内外から多くの皆さんにご来場いただきました。

「別子銅山産業遺産」や「ものづくりの技」など、本市の魅力を全国に発信しました。今回の取り組みを一過性に終わらせることなく、東予3市によるさらなる連携を強化したいと考えています。

駅伝のまち新居浜

京都府で開催された全国高等学校駅伝競走大会に新居浜東高等学校男子が初出場し、都大路を駆け抜けました。また、滋賀県で開催された全国中学校駅伝競走大会では、新居浜西中学校男子が5位入賞。女子も14位という好成績を収めました。

これを機に「ウエイトリフティングのまち新居浜」に続き、「駅伝のまち新居浜」も市内外へアピールしたいと考えています。

ふるさと祭り東京2020への太鼓台派遣

1月に東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京2020」に、岸之下、萩生西、萩生東の3台の太鼓台が出演。豪華絢爛、勇壮華麗な寄せ太鼓などの三位一体となった素晴らしい演技を披露し、東京ドームに詰め掛けた多くの観客を魅了しました。その後のSNSなどによる反響も大きく、新居浜市、新居浜太鼓祭りを全国に向けて強くアピールしていただきました。



新居浜

「令和2年度施政方針」

共通理解とチームワークで、最高・最大の力を発揮！

2月25日、第1回市議会定例会で、石川市長は令和2年度施政方針および予算提案説明を行いました。「施政方針」とは、令和2年度の市政運営に向けての基本的な考え方と主な施策を示すものです。

今月は、この施政方針と新年度予算の概要を紹介します。

問 総合政策課 ☎ 65 - 1210 FAX 65 - 1216



昨年は歴史的な皇位継承があり、「平成」から「令和」へと希望に満ちた新しい時代を迎えた一年となりました。一方、東日本を広範囲に襲った台風15号、19号は各地に甚大な被害をもたらしました。被災地域の日も早い復旧、復興をお祈りしますとともに、私自身、改めて防災対策の重要性を再認識したところです。



新しい新居浜を創る取り組みを推進!

Hello!
NEW

新居浜

令 和2年度は「①第5次新居浜市長期総合計画」の完遂と「②第2期新居浜市長期総合戦略」の推進に取り組みます。また、近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に備えた「③防災・減災対策の充実・強化」並びに、さまざまな分野で日々進化化する「④ICT利活用の推進」など、4つのポイントに重点を置いた市政運営に取り組みます。

「第5次新居浜市長期総合計画」の完遂と「第2期総合戦略」の推進

本市ではこれまで、第5次長期総合計画の将来都市像「あかがねのまち、笑顔輝く産業・環境共生都市」の実現に向け、快適交流、経済活力など6つのまちづくりの目標を掲げ、41の施策に取り組みでまいりました。令和2年度はその最終年度となることから、この1年間、その完遂に向け、全力で取り組んでまいります。

市政の主役は市民の皆さんです。10年後に、その市民一人一人が、輝きを放ち、幸せを感じ、心の豊かさを実感していただけるよう、本市まちづくりの最上位指針であります。

第5次新居浜市長期総合計画と第2期新居浜市長期総合戦略



す「第6次新居浜市長期総合計画」につきましても、基本構想、基本計画の策定作業を進めてまいります。



防災拠点施設の展示内容 (VR体験などもできます)

また、本市では、東京圏への一極集中の是正と人口減少問題に対応するため、平成27年に「第1期新居浜市長期総合戦略」を策定し、さまざまな地方創生施策に取り組みでまいりました。しかしながら、本市においても、改善傾向はみられるものの依然として東京圏への転出超過は続いており、さらには出生数の減少にも歯止めがかからない状況にあります。このようなことを

踏まえ、引き続いて地方創生の取り組みを加速させるため、令和2年度を初年度とする5カ年計画の「第2期新居浜市長期総合戦略」の策定を進めているところです。

第2期新居浜市長期総合戦略では、新たな視点も取り入れ、「雇用創出と人材育成による産業の振興」、「関係人口の創出と交流・定住人口の拡大」、「子育て支援の充実と健康長寿社会の実現」、「多様な連携と時代に合ったまちづくりの推進」の4つの基本目標を掲げて、「住みたい、住み続けたいあかがねのまち」の実現を目指し、活力ある地域社会への取り組みを強力に推進してまいります。

防災・減災対策の充実・強化

消防や危機管理の機能のほか、地震や水害体験のできる体験型防災センターが整備されますので、多くの市民の皆さんにご利用いただき、地域の防災力の向上に努めてまいります。

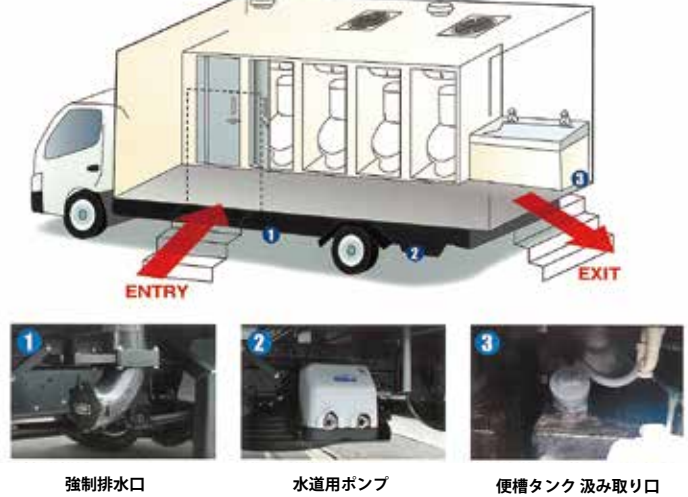
また、令和2年度から新たに、緊急避難場所として活用可能な自治会館の耐震化を支援するほか、災害時対応型移動式トイレ車を整備するなど、さらなる地域防災力の向上を図ってまいります。

さらに、一昨年の西日本豪雨や昨年東日本を襲った台風による災害、また、近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震などへ対応するためにも、危機管理体制の見直しも含め、ハード・ソフト両面で、より一層の防災・減災対策の充実・強化に取り組んでまいります。

ICT利活用の推進

近年のICTの急速な進展により、私たちの身の回りのさまざまな分野にICTが浸透しております。また、IoTの実装やビッグデータ、AIなどを活用した技術革新である第4次産業革命は、産業構造や雇用環境の転換に加え、私たちの暮らしや生き方、働き方にも劇的な変化を及ぼすことが予想されております。

災害時対応型移動式トイレ車（イメージ）



新居浜小学校でのタブレット端末を使った授業の様子

切である。という意味であり
ます。

私は、いつの時代においても、組織として事を成し遂げるために重要となるのは「共通理解」と「チームワーク」ではないかと考えております。個人の力が集まり「まち」を支えておりますが、その力が集まり、多くの力と多くの心が一つになったときにこそ、最高・最大の力が発揮されるものでございます。

令和2年度も、「Hello! NEW 新居浜」を合言葉に、市民の皆さん、議員の皆さん、そして行政が一体となり「ワンチーム」「チーム新居浜」で「新しい新居浜」を創る取り組みを推進し、市民の誰もが幸せを実感できる「笑顔輝く新居浜市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいります。

■施政方針全文は、新居浜市ホームページ「市長の部屋」から見ることができます。



このようなことから、本市におきましても、先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出するスマートシティへの取り組みを推進してまいります。

また、小・中学校においては、令和5年度までに児童・生徒1人1台の導入に向け、タブレット端末の整備を進めるほか、市民サービスへのRPA※、AIの導入についても検討を進めてまいります。

共通理解とチームワーク
で最高・最大の力を発揮

如かず。地の利は人の和に如かず」という言葉がございませう。これは、いかに方角や自然現象が良くても、地勢の有利がなければうまくいかない。また、いかに地勢の有利があつたとしても、民心の和合一致がなければうまくいきません。つまり、物事を成就させるには、人の和が何よりも大

古代中国の思想家・孟子の言葉に、「天の時は地の利に

※ RPA (Robotic Process Automation) : 業務効率化や生産性向上を実現するテクノロジー

令和2年度 新居浜市の予算

一般会計は対前年度比 2.5%のプラス

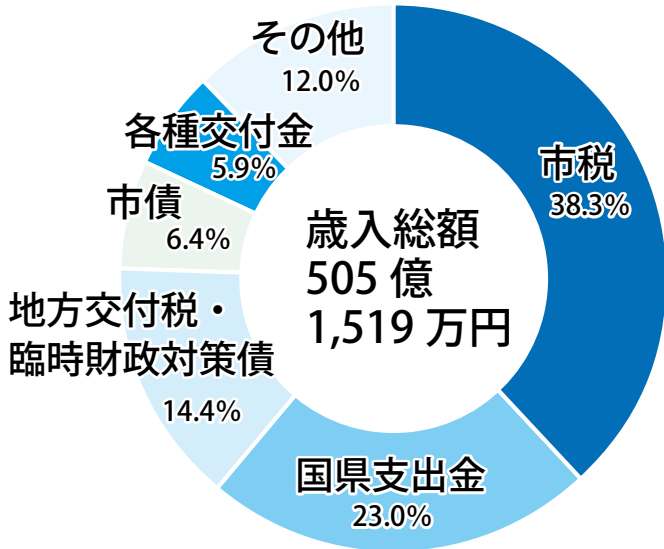
505億 1,519万円

令和2年度の新居浜市一般会計の予算規模は、505億1,519万円です。

また、国民健康保険事業、介護保険事業などの7つの特別会計が290億2,785万円。水道事業や公共下水道事業など3つの企業会計が137億9,636万円で、市全体の予算規模は933億3,940万円となっています。

令和2年度の一般会計当初予算は、昨年度と比べると12億5,609万円の増、率にして2.5%増加し、過去最高の予算規模です。

一般会計の歳入



特別会計の当初予算額

	R2当初	H31年当初	増減額
渡海船事業	2億7,068万2千円	1億8,698万6千円	8,369万6千円
住宅新築資金等貸付事業	488万7千円	513万3千円	△24万6千円
平尾墓園事業	2,735万8千円	3,043万7千円	△307万9千円
国民健康保険事業	128億3,573万4千円	127億4,408万2千円	9,165万2千円
介護保険事業	139億4,893万3千円	135億2,967万円	4億1,926万3千円
後期高齢者医療事業	18億1,266万3千円	17億1,091万4千円	1億174万9千円
工業用地造成事業	1億2,759万2千円	3億9,537万1千円	△2億6,777万9千円
合計	290億2,784万9千円	286億259万3千円	4億2,525万6千円

歳入（収入）と
歳出（支出）の内訳

歳入について

市税は、対前年比2.2%減

歳入について、割合が一番大きいのが市民税、固定資産税、軽自動車税などの市税で、193億2千706万円（対前年度比2.2%減）で、歳入全体の約38%を占めています。次に、国の制度に基づいて実施する児童手当や、生活保護などへの国庫負担金、公共事業を実施するための国庫補助金などの国・県支出金が116億5千37万円（対前年度比10.1%増）で全体の23%。地方公共団体の財源の不均衡を調整するための地方交付税・臨時財政対策債が72億8千万円（対前年度比1.1%増）で約14%などとなっています。

歳出について

福祉関係の支出が増加

歳出について、割合が一番大きいのが保育園の運営費

2 「防災・減災対策の充実・強化」

- ・総合防災拠点施設運用開始
- ・災害時対応型移動式トイレ車両の導入
- ・緊急避難場所として届け出ている自治会館などの耐震補助

3 「ICT化の推進」

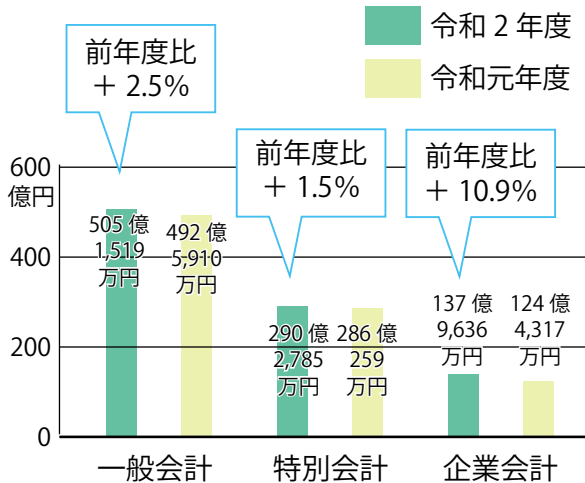
- ・スマートシティの推進

- ・地域ポイント制度の本格実施
- ・先進的技術実証支援事業の創設
- ・小中学校全校へのタブレット端末導入

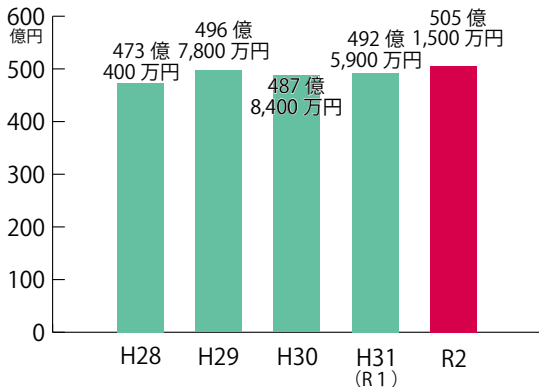
4 「第2期新居浜市総合戦略の推進」

住みたい、住み続けたい
あかがねのまちの実現を目指して

令和2年度 新居浜市の会計別予算額

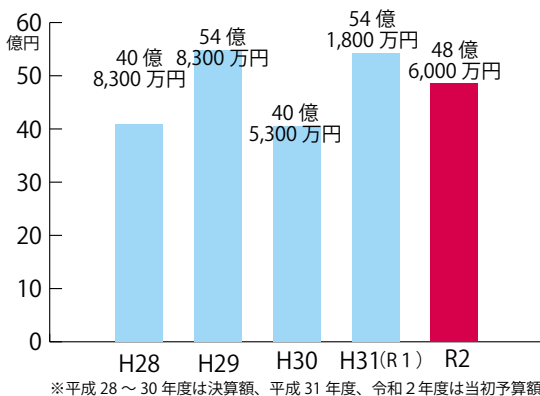


一般会計当初予算額の推移



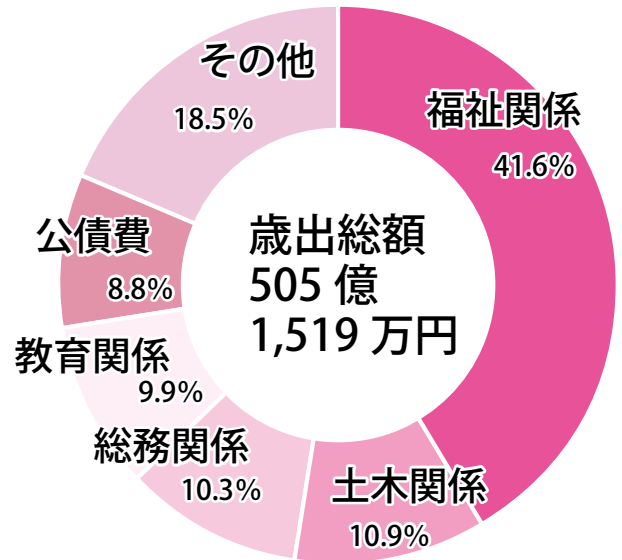
令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化や、高齢化の進行による医療費などの増加によって、福祉関係の支出が増加したことなどにより、当初予算額としては初めて500億円を超える予算規模となりました。

市債（借入金）の推移



市債は、対前年度比5億5,830万円、10.3%減の48億6,030万円となっています。増減の主な要因としては、
 ・端出場水力発電所整備事業債の増（1億2,120万円）
 ・市民体育館空調設備整備事業債の減（△4億9,260万円）
 ・一般廃棄物処理事業債の増（4億8,460万円）
 ・総合防災拠点施設建設事業債の減（△14億7,360万円）
 となっています。

一般会計の歳出



や、介護保険事業、国民健康保険事業特別会計の繰り出し金など、福祉関係の支出が210億502万円（対前年度比3.1%増）で約42%を占めています。次に、道路の新設や改良、公園整備、公共下水道事業会計への負担金など土木関係の支出が55億2,769万円（対前年比4.1%増）で約11%。職員の人件費や庁舎の管理、産業遺産の整備など総務関係の支出が52億2,769万円（対前年度比11・6%増）で約10%などとなっています。

point 当初予算のポイント

1 「第5次新居浜市長期総合計画の完遂」

令和2年度が最終年度となる「第5次新居浜市長期総合計画」について、「快適交流」「環境調和」「経済活力」「健康福祉」「教育文化」「自立協働」の6つのまちづくりの目標それぞれで、着実な実行と計画の完遂を目指します。



令和
2年度に実施する主な事業をフィールド（分野）別に掲載します。
今年度も「Hello! NEW 新居浜」を合言葉に、市民の皆さんと行政が一体となり、「フ
ンチーム」「チーム新居浜」で新しい新居浜を創る取り組みを推進し、市民の誰もが幸せ
を実感できる「笑顔輝く新居浜市」の実現を目指し、各種施策に取り組みます。

フィールド1 快適交流		
平形外山線改良事業	令和2年度の事業完了に向けて、南中学校西側の未改良区間（95m）の整備に向けた墳墓移転補償・道路改良工事などを行います。	3,380万円
公営住宅建替推進事業（写真①）	新居浜市公営住宅等長寿命化計画に基づき、東田団地の建て替えを行います。第一期工事（1号棟建設工事）（令和2～4年度）	4億8,751万円
フィールド2 環境調和		
斎場施設整備事業	昭和59年から供用を開始し、老朽化が進行している火葬棟の改修（火葬炉8炉を大型炉に入れ替え）を実施するとともに、待合棟の改修などを行います。（～令和3年度）	2億7,086万円
フィールド3 経済活力		
企業魅力発信事業費	働き方改革に取り組む企業を認定する「働き方改革推進企業認定制度」およびSDGs達成に向けた取り組みを行う企業を登録する「SDGs推進企業登録制度」を創設。市内外に広く発信することにより、人材確保・企業価値の向上につなげます。	500万円
先進的技術実証支援事業費	次世代産業基盤となりうる新事業の創出を促進し、スマートシティの実現に向けた取り組みを加速するため、先進的な技術を活用した新事業の実証を支援する制度を創設します。	450万円
インバウンド観光推進費（写真②）	インバウンド時代に対応した外国人誘客に向け、外国人に向けた情報発信と誘致活動、ホスピタリティの向上に取り組み、外国人観光客を含めた交流人口の増加を図ります。	1,009万円
フィールド4 健康福祉		
感染症等予防費	乳幼児、学童などをはじめとした予防接種に加え、新生児に対するロタウイルスワクチンの予防接種を実施。また、令和3年度までの時限措置として行っている、風しん対策の抗体検査および結果に応じた予防接種を実施します。	3億8,634万円
母子保健推進費	特定不妊治療（体外受精・顕微授精など）に対する助成額を、1回5万円から20万円に増額するとともに、不育症に対する治療についても補助対象とします。	1億3,502万円
フィールド5 教育文化		
小中学校 ICT 環境整備推進事業費	全小中学校3クラスに1クラス分のタブレット導入と、ICTを活用した教育活動を支援するためのICT支援員を配置します。	3億3,226万円
旧広瀬邸等保存活用事業（写真③）	国の重要文化財「旧広瀬邸」と、国の名勝「旧広瀬氏庭園」の保存活用計画の策定および耐震診断を行います。	3,622万円
総合文化施設開館 5周年記念事業費（写真④）	東京芸術大学のクローン技術により蘇った「法隆寺金堂壁画」や「パーミヤン大仏天井壁画」など、世界的文化遺産を体験できる、特別企画展「素心伝心展」（4/24～6/21）を開催。また、夏休み期間に合わせたイベント「チームラボ 未来の遊園地」を開催。	5,638万円
端出場水力発電所整備事業（写真⑤）	旧端出場水力発電所保存活用計画に基づき、～令和4年度の予定で、耐震補強などの工事を進めます。	4億2,434万円
フィールド6 自立協働		
消防自動車整備事業	配備している車両について、順次更新を行います。また、災害時対応型移動式トイレ車を導入します。	3億1,668万円
計画の推進		
スマートシティ推進事業費（写真⑥）	昨年度連携協定を締結したソフトバンクやハートネットワークを中心に、市民サービスを向上させる取り組みを行います。	2,831万円
地域ポイント制度運営事業費	これまで市が実施してきたポイント事業などを、便利で使いやすいポイント事業に統合し、各種活動でたまったポイントを、事業加盟店で使える地域ポイント制度を始めます。	1,750万円

「笑顔輝く新居浜市」の実現を目指して
市民の誰もが幸せを実感できる



①東田団地（建て替えイメージ）



②台湾観光・物産プロジェクトより



③旧広瀬邸の保存・活用



④「素心伝心展」「チームラボ未来の遊園地」



⑤端出場水力発電所整備事業



⑥スマートシティ関連の協定